

# 大麦栽培特報 第4号

平成28年4月1日  
 いなば農業技術者協議会  
 ○事務局【JAいなば営農生産課】  
 小矢部市赤倉97 67-8000  
 【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300  
 【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600  
 ○高岡農林振興センター 26-8480

## 1. 現在の生育状況 (3/28 調査より)

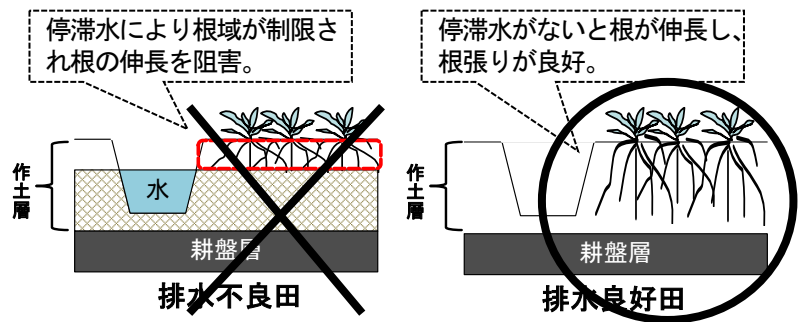
調査圃	草丈 (cm)	莖数 (本/㎡)	葉令	葉色 (SPAD)	葉穂長 (mm)
平均					
いなば	34.4	487	13.5	41.1	22.2
県	38.2	517	12.7	40.7	20.1



○生育は、県平均より草丈は短め、莖数は少なめに推移しています。  
 (出穂期予想：福岡4月11日頃、小矢部13～15日頃)

## 2. 今後の管理

○排水溝の手直しを行うとともに、深く掘下げた排水口への連結を行い排水を徹底する。



## 3. 分施肥系の追肥

図. 排水の良否と根の伸長のイメージ

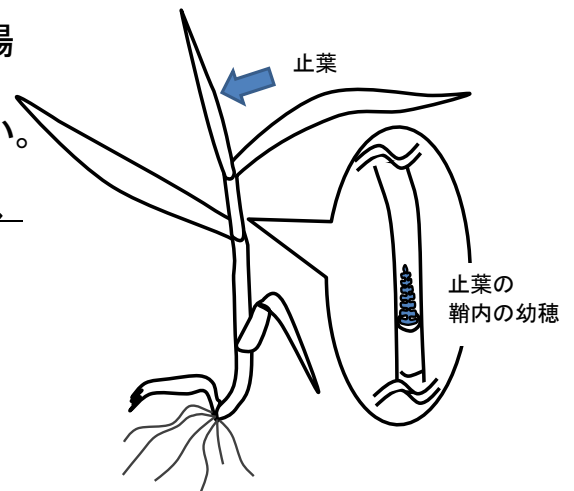
○分施肥系を行っている北蟹谷地区では、圃場により生育が異なるので、止葉展開期を確認し、追肥は5～10kg/10aを施用してください。

※追肥の時期が遅れると、品質低下をまねくので、遅れずに、追肥を行って下さい。

—追肥料の目安—

葉色・葉色版 (SPAD)	硫安施用量 (Kg/10a) ( )は窒素分量	
5未満 (45未満)	10	(2)
5以上 (45以上)	5	(1)

※肥効調節型肥料の場合は、止葉展開期追肥は施用しない。  
 ただし、葉色が淡いようなら営農指導員にご相談ください。



※止葉展開期とは？

止葉が完全に抽出した茎が、全体の40～50%となった時期です。

## 4. 赤カビ病防除の準備

○出穂期予想が昨年より8日程度早まっていますので、早めの準備をお願いします。

○穂揃期(開花始め)とその7日後の2回防除を確実に実施してください。